

Eco Action 21

Eco Action 21

環境活動レポート



環境サービス株式会社

2021年4月26日作成

目 次

1 環境方針	1
2 組織の概要	2
3 組織図	3
4 環境目標	9
5 環境活動計画の取組内容	10
6 環境への取り組み状況の把握及び評価	11
7 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	12
8 代表者の評価と見直し	13

【1 環境方針】

〔環境方針〕

主の事業である産業廃棄物処理においては、排出事業者様へコンプライアンス遵守、3R活動を
図ることで、地球資源の保全に役立てて社会の一翼を担うことを目的としている。

今後は、廃棄物のリサイクルの他に環境マネジメントシステムを積極的に活用維持して

「廃棄物の適正処理」を推進し、かつ、日常からその改善に取り組み、もって健全な地域社会の
発展に寄与することを基本方針とする。

当社のリサイクル事業等では、「運搬車両」及び「産業廃棄物の破碎・熔融・圧縮施設」における
エネルギーが環境負荷の主であり、これに伴う法規制及び地域社会のルールを遵守しながら、
従業員一丸となり事業活動に取り組みます。

〔行動指針〕

- 1、産業廃棄物の再資源化を促進し最終処分量の低減に努める。
- 2、化石燃料による二酸化炭素の削減に努める。
- 3、電気使用量による二酸化炭素の削減に努める。
- 4、リサイクルセンター周辺の清掃を実施し地域の環境保全に協力する。
- 5、グリーン購入を推進し環境保全に貢献する。

社内の要所に環境方針を掲示し、全従業員にエコアクション21環境経営システムを徹底します。

平成18年3月10日 制定
2019年7月 1日 改訂

環境サービス株式会社
代表取締役 中谷 数正

【2 組織の概要】

環境サービス株式会社
代表取締役 中谷 数正

2) 所在地

本社 〒073-0162 北海道砂川市西2条北4丁目1番20号
リサイクルセンター 〒073-0118 北海道砂川市焼山702番

設立 昭和57年7月10日

資本金 1,610万円

3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 専務取締役 山田 修一

担当者 総務 藤原 さゆり

連絡先 本社 電話 0125-52-2739 FAX 0125-52-3040

センター 電話 0125-52-6902 FAX 0125-54-2729

HP <http://www.environment-service.jp/>

E-mail ksk@eos.ocn.ne.jp

4) 事業活動の内容

産業廃棄物処理業(収集運搬、中間処理、最終処分)、
建設業の種類 (とび・土工事業 解体工事業)

5) 事業の規模

活動規模	単位	2018年度	2019年度	2020年度
産廃収集運搬受託量	t	923.71	823.31	1,276.97
産廃中間処理受託量	t	11,806.34	12,725.92	8,056.55
産廃最終処分量	t	21,961.98	22,845.29	13,397.40
建設副産物量	t	1,367.94	3,405.69	428.00
売上高	百万円	639	657	434
従業員数	人	23	22	21
管理型最終処分場		第VI期	第VI期	第VI期
埋立残容量	m ³	68,439.81	30,487.10	10,522.60
総床面積合計	m ²	315.53	315.53	315.53
本社事務所	m ²	132.13	132.13	132.13
リサイクルセンター	m ²	183.40	183.40	183.40

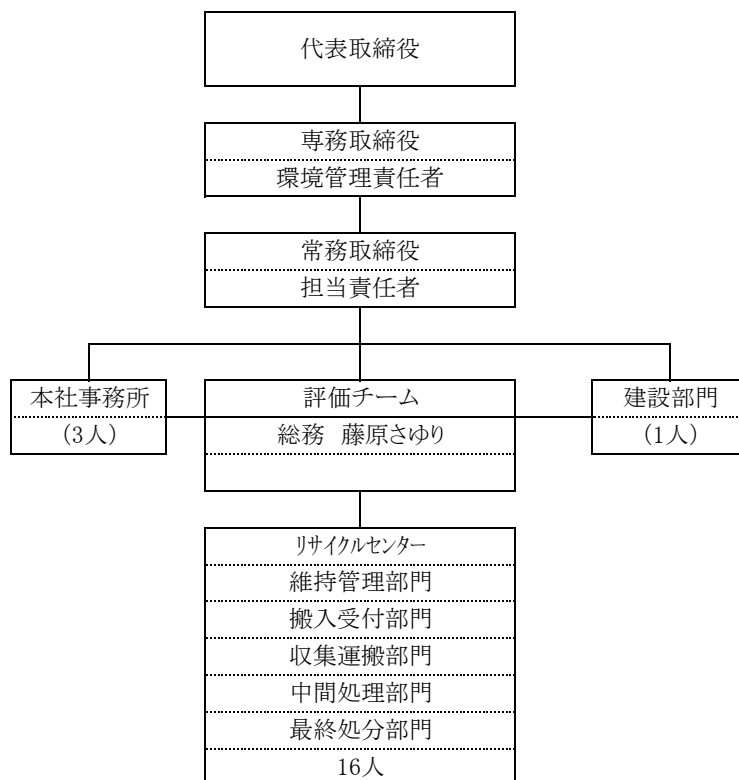
6) 対象 認証登録

① 対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日

① 対象範囲 1)産業廃棄物処理処分業(収集運搬・中間処理・最終処分)

2)建設業(とび・土工事業・解体工事業)

【3 組織図】



資格等

- 1) 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会
日本産業廃棄物処理振興センター主催講習会受講
 - ・収集運搬(特管産廃)課程平成29年09月05日 受講No.517059146
 - ・処分課程(特管産廃)課程平成30年10月17日 受講No.618164119
- 2) 産業廃棄物等技術管理者(日本環境衛生センター認定資格)
 - ・最終処分場技術管理士…平成14年10月31日 認定番号No.005606
 - ・最終処分場技術管理士…平成24年 2月23日 認定番号No.035428
 - ・破碎・リサイクル施設技術管理士…平成19年11月30日 認定番号No.024647
 - ・破碎・リサイクル施設技術管理士…平成28年 6月24日 認定番号No.045235
 - ・産業廃棄物中間処理施設技術管理士…平成20年01月31日 認定番号No.024987
 - ・ごみ処理施設技術管理士…平成23年 2月10日 認定番号No.032864

地域融和

当社の施設は、見学の要請があれば随時公開をしています。

環境管理への取り組み

- 1) エコアクション21認証登録…平成18年6月8日 認証番号第0000806号
- 2) 有効期限 2022年6月7日 認証・登録番号 第0000806号

許可の内容(事業計画の概要、産業廃棄物収集運搬・産業廃棄物処分業・特官収集運搬・特官処分業の許可証)

	許可期間	許可番号	許可対象産業廃棄物
産業廃棄物収集運搬業 (道庁)	H.28.11.14	第00110005750号	燃え殻、汚泥、廃プラ類、紙くず、木くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス等くず、鉱さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、13号廃棄物
	R.3.10.28		
㊦ 特管産廃収集運搬業 (道庁)	H.30.12.02	第00150005750号	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類)、廃酸(pH2.0以下のもの)、感染性産業廃棄物、廃石綿等。積替保管なし。
	R.7.12.01		
産業廃棄物処分業 (道庁)	H.28.11.11	第00140005750号	埋立(燃え殻、汚泥、廃油(タールピッチ類に限る)、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、 鉱さい、がれき類、動物のふん尿・動物の死体・ばいじん、 産業廃棄物を処分するために処理したもの、以上、石綿含有産業廃棄物であるもの、水銀使用製品産業廃棄物(水銀回収義務がないものに限る。)であるものを含む。また、燃え殻、汚泥、鉱さい、ばいじんについては、水銀含有ばいじん等であるもの(水銀回収義務のないものに限る。)を含む。)破砕(廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、金属くず、がれき類)、天日乾燥(汚泥)、破砕・溶融(廃プラスチック類)、破砕・圧縮(廃プラスチック類)、圧縮(廃プラスチック類、紙くず)
	R.3.10.28		
㊦特管産廃処分業 (道庁)	H.30.12.22	第00180005750号	埋立(廃石綿等)
	R.7.12.21		

3 処理施設及び処理実績

① 収集運搬

1) 運搬等車輛

車輛の型式	運搬用途等	台数
ニッサンディーゼルダンプ4t	産廃(汚泥)	1
日産キャブオーバー 1t	産廃貨物車	1
トヨタキャブオーバー 1t	産廃貨物車	1
いすゞダンプ9.4t	がれき類車	1
いすゞダンプ20t	産廃ダンプ車	1
日野ダンプ8.9t・10t	産廃ダンプ車	2
三菱ふそう 10.2t	産廃ダンプ車	1
いすゞエルフバン2t	医療収集車	1
日野キャブオーバー2・85t	トラッククレーン付	1
日野レンジャー 6.9t	トラッククレーン付	1

2) 積替保管場所

施設の種類 保管場所 1 設置場所砂川市焼山320番1 面積 37.32㎡ 種類 紙くず。 保管上限 39.35㎡ 高さ 1.2m

施設の種類 保管場所 2 設置場所砂川市焼山374番 面積 150㎡ 種類 金属くず。 保管上限 145.83㎡ 高さ 2.5m

3) 収集運搬の実績(2020年度)

単位:t

廃棄物種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30
汚泥(無機)	25.58	13.15	13.22	12.78	14.31	19.09	25.40	18.63	20.11	6.55	12.62	20.97	202.41
汚泥(有機)	10.42	0.81	6.27	6.13	3.12	8.33	6.79	5.83	3.50	4.27	5.30	10.14	70.91
廃プラスチック類	3.82	3.59	6.24	10.24	5.15	6.90	5.35	6.05	8.52	2.76	4.90	12.08	75.60
紙くず	0.46	0.00	0.33	0.32	0.38	1.24	0.31	1.37	0.30	0.00	0.51	0.66	5.88
木くず	3.46	6.94	1.40	70.19	2.88	25.31	3.67	4.42	3.18	1.69	3.58	4.05	130.77
繊維くず	0.00	0.36	0.00	0.00	0.00	0.59	0.00	0.12	0.00	0.29	0.00	0.00	1.36
金属くず	0.48	0.14	0.75	0.47	1.53	1.72	0.83	5.44	3.53	0.12	0.51	2.34	17.86
動物性残渣	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラスくず・コンクリート 陶磁器くず	1.41	1.32	1.39	3.21	0.73	9.37	7.39	2.38	4.63	0.31	3.37	1.57	37.08
がれき類	2.69	41.28	0.00	64.33	2.17	63.05	78.88	96.09	8.32	0.00	0.00	0.55	357.36
鋳さい	0.00	0.00	0.00	2.61	0.61	1.18	6.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.48
ばいじん	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃石綿等(飛散性石 アスベスト)	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.81
感染性廃棄物 (運搬のみ)	27.95	24.64	30.20	30.01	29.21	28.07	30.99	34.88	35.21	32.17	27.98	34.84	366.15
合計	76.27	92.23	59.80	200.35	60.39	165.60	165.69	175.21	87.30	48.16	58.77	87.20	1276.97

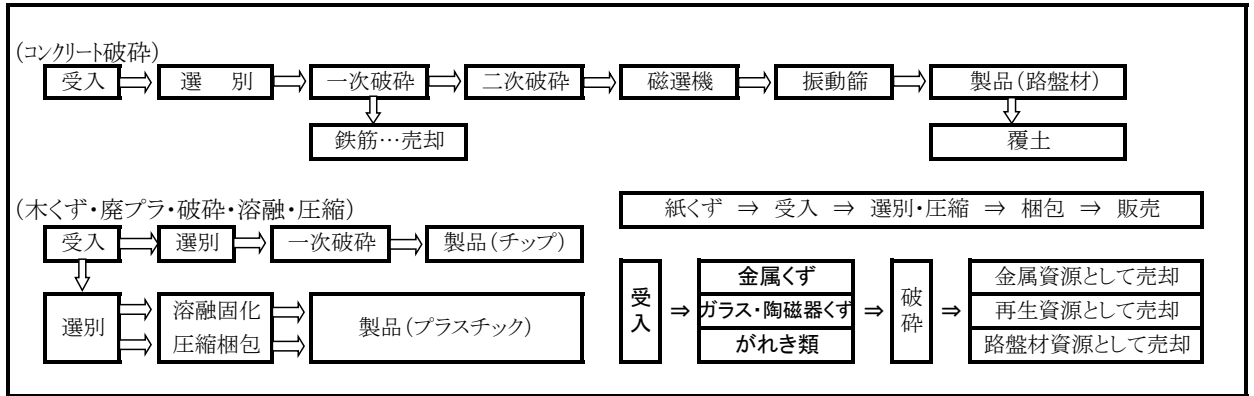
1) 処理場内の運搬・覆土等車輛

車輛の型式	処分用途等	台数
日立ホイローダーZW220-6	ショベルローダー	2
油圧ショベル SK210(コベルコ)	バックホウ	1
油圧ショベル 304531	バックホウ	1
油圧ショベル 117395	バックホウ	1
油圧ショベル 114800	バックホウ	1
油圧ショベル 225605	バックホウ	1
油圧ショベル 202930	バックホウ	1
油圧ショベル 64840	バックホウ	1
油圧ショベル 97213	バックホウ	1
ブルドーザー	敷き均し転圧用	1

2) 処理施設(中間)

砂川市焼山377番・375番1					
対象廃棄物	処理施設種類	設置年月日	処理能力(t/日…t/h)	処理方式	備考
がれき類等	破砕	H6.8.8	350t/日…43.75t/h	STクラッシャー	形式 S5-D
木くず	一次破砕	H14.8.12	480t/日…60t/h	2軸シュレッダー	HB380クローラー
木くず	一次破砕	H31.4.25	203.2t/日…25.4t/h	自走式破砕機	SRS780ビッグバス

3) 処理工程図(中間)



4) 中間処理受入実績(2020年度)

廃棄物種類	処分方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
廃プラスチック類	破碎	0.49	0.61	0.76	2.99	1.22	0.48	3.20	8.28	0.92	0.00	0.33	0.00	19.28
廃プラスチック類	破碎・溶融	0.54	0.73	0.65	0.67	0.34	0.74	0.45	0.61	0.33	0.24	0.20	0.52	6.02
廃プラスチック類	破碎・圧縮	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	圧縮	3.36	6.91	6.32	6.10	6.25	7.70	16.67	12.15	7.61	4.94	4.76	4.89	87.66
木くず	破碎	21.45	34.00	37.67	44.87	37.31	99.71	79.29	64.39	34.97	7.00	17.89	20.93	499.48
紙くず	圧縮	0.79	0.47	0.46	0.87	0.66	2.01	1.11	1.99	0.99	0.66	1.23	1.31	12.55
ゴムくず	破碎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	破碎	15.10	15.07	6.45	7.08	8.42	11.09	7.47	11.40	6.29	0.79	1.67	6.59	97.42
がれき類 (アスファルト)	破碎	35.56	28.14	52.86	24.82	4.72	6.24	119.79	177.78	6.33	23.43	8.94	4.92	493.53
コンクリート (無筋)	破碎	71.89	70.11	85.35	141.27	108.37	303.76	1,327.04	125.30	40.65	106.48	72.50	56.77	2,509.49
コンクリート (有筋)	破碎	94.39	98.35	264.72	163.10	45.15	246.54	2,199.39	270.37	69.77	21.12	0.00	54.02	3,526.92
コンクリート (CP柱)	破碎	172.53	48.68	80.70	42.39	15.44	96.52	19.45	76.95	28.04	77.44	98.88	47.18	804.20
がれき類	破碎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計		416.10	303.07	535.94	434.16	227.88	774.79	3,773.86	749.22	195.90	242.10	206.40	197.13	8,056.55

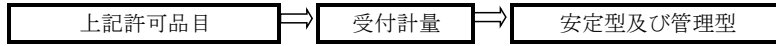
2020年度実績	
中間処理受託量	8,056.55 t
埋立直接受託量	1,276.97 t

5) 処分(埋立)

埋立施設の種類	施設の設置場所	設置年月日	埋立面積(m ²)	実質埋立容量(m ³)	終了予定
安定型及び管理型	砂川市焼山317番他11	H.27.07.21	30,600	135,400	平成35年

処理工程図(埋立)

燃えがら・汚泥・廃油・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・動物の死体・ばいじん・コンクリートくず及び陶磁器くず・(石綿含有産業廃棄物含む)・鉱さい・がれき類(石綿含有産業廃棄物含む)・動物のふん尿



※適宜覆土 廃棄物の飛散の恐れがある場合・・・・・・20cm

※廃石綿等の埋立は、一定の区域を杭で明示した後、埋立地の外へ分散しないよう散水しながら覆土を施します。

浸出処理施設の処理方法

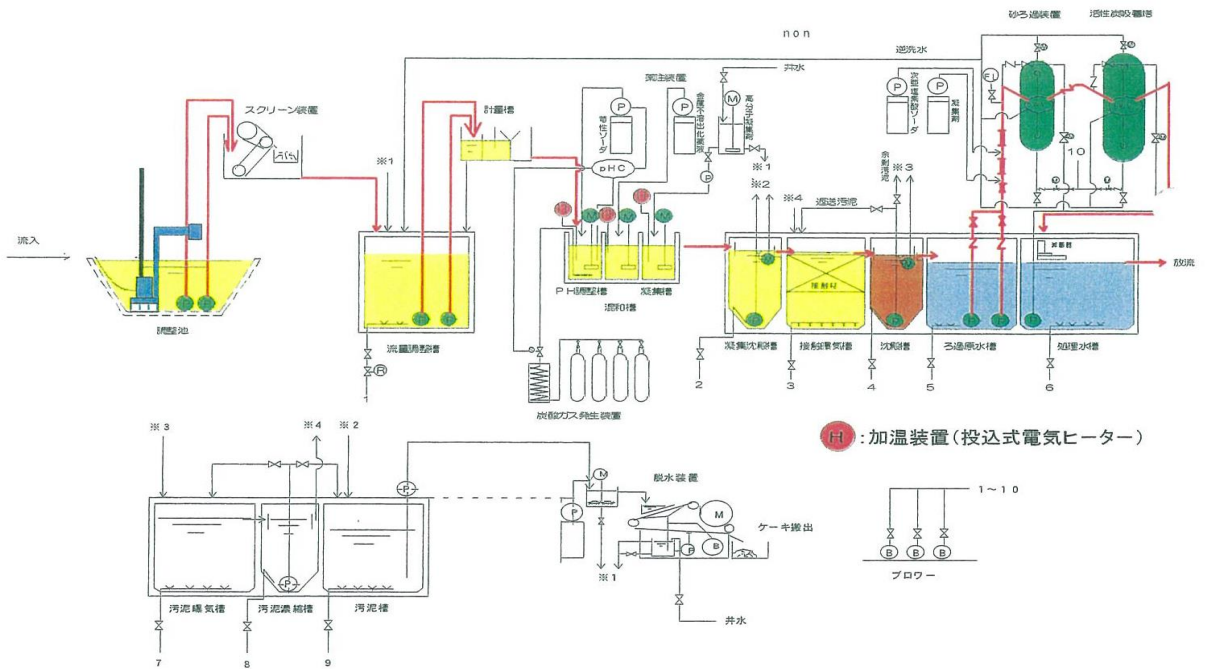
本計画の処理方式は下記に示すとおりである。【設計計算書】参考資料 参照)

又、浸出処理施設の処理能力は、別紙【水理計算書】水収支計算より、下記の値とする。

尚、浸出水は冬季に水温が下がり、生物処理に適さない水温となる場合があるが、このときは加温用電気ヒーターにより生物処理に適する水温まで加温するものとする。

処理方式	処理能力
凝集沈殿＋接触曝気＋砂ろ過＋活性炭吸着	120m ³ /日

処理フローシート



6) 埋立実績(2020年度)

単位:t

廃棄物種類	処分方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
燃え殻	埋立	0	0.00	0.00	0.00	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.3
汚泥(無機)	埋立	41.42	13.33	20.89	14.55	14.89	18.95	29.71	27.22	20.20	6.55	12.62	20.97	241.3
汚泥(有機)	埋立	10.42	0.81	9.85	6.13	4.00	8.33	6.79	5.86	6.78	4.27	5.30	10.14	78.68
廃プラスチック類	埋立	83.96	65.26	80.39	194.85	112.36	122.92	95.95	91.14	72.40	24.48	28.42	87.40	1059.53
廃プラスチック (シュレッダーダスト)	埋立	557.02	504.96	984.64	1096.16	694.32	551.68	432.92	769.37	798.56	643.60	746.76	1200.72	8,980.71
ガラス陶磁器くず (ギロチン)	埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0
紙くず	埋立	0.52	0.00	0.14	0.02	0.07	0.00	0.19	0.74	0.05	0.00	0.00	0.10	1.83
木くず	埋立	40.62	51.48	37.00	89.68	22.18	18.20	32.23	10.26	7.12	1.76	1.13	12.39	324.05
繊維くず	埋立	6.29	10.71	10.85	10.01	5.08	9.77	4.69	2.98	3.88	0.50	1.40	0.49	66.65
動植物性残さ	埋立	0.00	0.13	3.58	48.96	20.42	31.95	41.75	17.09	5.60	25.40	17.03	16.50	228.41
ゴムくず	埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0
ガラスくず・コンクリート陶磁器くず	埋立	118.06	127.27	122.76	168.75	108.12	149.80	182.20	123.20	104.77	37.45	24.02	101.17	1,367.57
ばいじん	埋立	33.62	43.97	32.30	42.24	42.16	43.23	41.22	31.93	42.54	40.64	30.73	42.00	466.58
がれき類	埋立	15.84	38.05	75.03	74.31	124.01	53.01	65.64	31.51	7.12	15.17	0.64	27.18	527.51
がれき類 (アスファルト)	埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0
鉱さい	埋立	0.00	0.00	0.00	2.61	0.61	1.18	6.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.48
廃石綿含有等 (非・飛散性石綿)	埋立	0.00	0.00	2.92	3.10	7.45	2.95	11.14	0.00	1.82	0.00	1.12	0.00	30.5
金属くず	埋立	1.08	0.31	2.02	1.52	0.15	0.05	3.75	2.41	1.46	0.22	0.00	0.33	13.3
廃油(タールピッチに限る)	埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0
13号廃棄物	埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0
合計		908.85	856.28	1382.37	1752.89	1156.12	1012.02	954.26	1113.71	1072.30	800.04	869.17	1519.39	13397.40

【4 環境目標】

1 環境目標(中長期目標)は、次のとおり定める。

項 目		(2017年)基準値		中長期目標				
		実 数	単 位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
削減	CO ₂ 排出量		729,630.70	kg-CO ₂	722,344.39	715,038.09	707,741.78	700,445.5
	投入量の内訳等	電力	374,552.00	KWh	370,806.48	367,060.96	363,315.4	359,569.9
		灯油	94,229.00	L	93,286.71	92,344.42	91,402.13	90,459.84
		ガソリン	8,138.80	L	8,057.41	7,896.26	7,894.64	7,813.3
		軽油	80,299.90	L	79,496.9	78,693.9	77,890.9	77,087.9
増大	再資源化量		23,614.1	t	23,377.95	23,141.81	22,905.67	22,669.53

項 目		(2017年)基準値		2020年度(4月～3月)の実績				
		実 数	単 位	目標値	率	実績	基準値差	
削減	CO ₂ 排出量		729,630.70	kg-CO ₂	707,741.78	-1%	638,210.98	-91,419.7
	投入量の内訳等	電力	374,552.00	KWh	363,315.40	-1%	295,682.00	-78,870.0
		灯油	94,229.00	L	91,402.13	-1%	62,490.70	-31,738.3
		ガソリン	8,138.80	L	7,894.64	-1%	8,430.10	291.3
		軽油	80,299.90	L	77,890.90	-1%	97,368.80	17,068.9
増大	再資源化量		23,614.1	t	22,905.67	1%	8,056.60	-15,557.5

① 温室効果ガス関係

二酸化炭素の排出原単位は2017年度北電デフォルト値0.678Kg-COKWhを使用。

② 廃棄物の埋め立て処分量は、自社排出は殆どなく受託廃棄物の選別後等により排出するため排出量を±0%にし

評価の対象外とする

③ 水道水の使用量は対象になっているリサイクルセンターが地下水を使用しているため計測が出来ず参考までとす

④ 埋立量は埋立が本業のためこれを削減することは出来ないが排出事業者に再資源化を推奨する事で減容に繋

【5 環境活動計画の取組内容】

1、二酸化炭素排出量の削減

- ・重機車両のアイドリングストップを実施。
- ・暖気運転は最小限にとどめる。
- ・効率的な運行経路の計画を推進・実行。
- ・高電圧使用のコンクリートプラントの効率化を計画的に実施。
- ・冷暖房の適温化、照明設備は不必要な照明は点けない。(自然光の利用)

2、廃棄物の埋立量の削減

- ・産廃契約時に分別廃棄の徹底を依頼する。
- ・受託した廃棄物は可能な限り分別、選別を行い資源化する。
- ・従業員に一般廃棄物の分別を周知させる。

3、リサイクル率の向上・環境配慮に関する取組

- ・常に再資源化事業者から資源に関する情報を取得し再資源化に繋げる。
- ・重機車両の入替時に環境負荷の少ない物へ積極的に入れ替える。

【6 環境への取組状況の把握及び評価】

取組計画	目標値	実績	結果	評価
CO2排出量 単位 kg-CO2	707,741.78	638,210.98	減少	目標値より69,530.8kg-CO2減少、今後も取り組みを継続
電力の削減 単位 KWh	363,315.40	295,682.00	減少	目標値より67,633.4KWh減少原因は、受電装置3か所を更新した結果と判断
化石燃料使用量の削減	91,402.13	62,490.70	減少	目標値より28,911.430減少要因は、産廃受入の減少と判断
灯油 単位 L				
ガソリン 単位 L	7,894.64	8,430.10	増加	目標値より535.460増加、営業等によると判断今後も取り組みを継続
軽油 単位 L	77,890.90	97,368.80	増加	目標値より19,477.90増加、要因は前年12月～今年 3月までの降雪量が前年より3m17cm多く委託業務の雪捨場での重機車両3台のフル稼働が原因 今後も取り組みを継続する。
再資源化量 単位 t	22,905.70	8,056.60	減少	目標値より、公共工事等のがれき類の受入が少なく減少の要因

次年度の取り組み

取組計画	目標値	次年度取組内容
CO2排出量 単位 kg-CO2	700,445.5	リサイクルセンターの高電圧の使用を効率よく工夫を行う
電力の削減 単位 KWh	359,569.9	事務所、作業場等節電を全従業員実施する
化石燃料使用量の削減	90,459.8	収集運搬時の効率及びルート計画を行う
灯油 単位 L		重機車両の効率及び点検整備を徹底
ガソリン 単位 L	7,813.3	営業効率ルート計画を実施する
軽油 単位 L	77,087.9	作業場で必要以上のアイドリングを行わない
再資源化の推進 単位 kg	22,669.5	金属くず・木くず等は、選別破碎を行い再資源化 廃プラ類は、圧縮・溶融を行い再資源化する

【7 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無】

- ① 環境関連法規は、代表が評価する平成31年4月16日に行政機関のHP等で改廃等及び遵守状況を確認した。当社に必要な法律を次表のとおり確認しているため、適切と評価している。

環境関連法規一覧表

環境関連法規	主な該当項目	違反	
廃棄物処理法		無	
許可等	産業廃棄物収集運搬業	知事許可(第00110005750号)→更新許可・変更等	無
	産業廃棄物処分業	知事許可(第00140005750号)→更新許可・変更等	無
	特管産業廃棄物収集運搬業	知事許可(第00150005750号)→更新許可・変更等	無
	特管産業廃棄物処分業	知事許可(第00180005750号)→更新許可・変更等	無
	破砕機の設置	知事許可(空環生第49-4号)破砕機→設置許可・変更等	無
	破砕機の設置	知事許可(空環生第240-52号)破砕機→設置許可・変更等	無
	産業廃棄物処理施設設置	知事許可(空環生第482-5号)→許可	無
	建設業	知事許可((般-25)空第03146号)→変更許可等	無
建設リサイクル法	工事前の届出・発注者への再資源化報告等	無	
消防法(条例)	灯油タンクの設置届→構造・設置場所の変更	無	
浄化槽法	第II类横置(1年)に一回指定横置機関の付水質に関する横置を受けなければならない。年4回保守点検清掃実施	無	
北海道公害防止条例	騒音・振動に関し破砕機の能力を変更した場合に該当する恐れ	無	
建設業法	北海道知事許可 空第-20第3146号→変更許可等	無	
水質汚濁防止法	特定施設の設置届・油が漏洩して公共水域への流出した時の届出	無	
道路運送車両法	道路運送車両法に基づき車両の登録、車検を受けているか?	無	
大気汚染防止法	解体工事において特定工事に該当するか否か調査等を実施しているか?(廃石綿の取り扱い)	無	
振動規制法	特定施設を設置するため市町村へ届出。	無	
電気事業法	電気工作物の維持は、専門業者に委託して管理する。	無	
フロン排出抑制法	重機車両によるフロン類を管理する。	無	
石綿による健康被害の救済に関する法	特管、産廃と区別し処理規定に見合った適切な処理を行っているか確認	無	
計量法	トラックスケールの検査(2年に1回)	無	

- ② 環境関連法規のうち廃棄物処理法及び建設業法等は、当社の事業に直接関係する法律で過去3年間に関係当局から3ヵ月以上の行政処分はありません。また、訴訟の事実もありません。

代表者の評価と見直し

【環境方針】

現状のままとする。

【環境関連法規】

環境関連法規の一覧表は、変更しない。

【環境目標及び環境活動計画】

変更なし

【実施体制】

- ① 前年度同様、顧問2名による環境関連法規の遵守産廃関連の講習を全員受講すること。
- ② 「代表者へ報告した情報」は「代表者への報告・評価事項」とする。

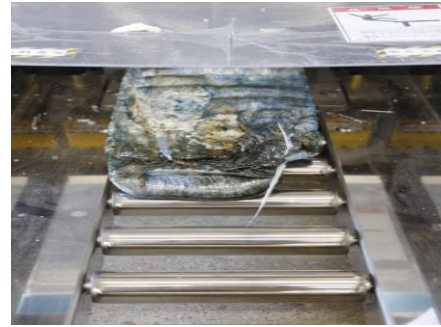
【緊急事態への準備及び対応】

特に変更はしない。

【その他】

特になし

リサイクルセンター資源化の取組



溶融施設担当
福地 弘

溶融機を導入し時間が短縮され効率的に作業が出来ます。
非資源化物も薄くなり減容化に繋がっています。

地域社会貢献活動への取組



地域の小学校の写生会へ参加。
当社の重機を上手に描いて頂きました。



重機に試乗してもらいました。
重機の説明に興味深く聞いていました。



市内の中学生による「企業訪問」
水処理施設で説明を受けています。
微生物や化学反応など質問がありました。さすが、
現役の中学生！こちらもためになります！



中間処理施設(溶融処理施設)にて。
発泡スチロール、スタイロフォームを溶融し、プラスチックの原料になる旨を説明しました。再資源化する事で廃棄物を減らす事に繋がるのです。